

旅だより② ハワイより



2年ぶりのホノルルは太陽、風、海の青さ、懐かしい友は今まで通りに迎えてくれましたが、立ち並ぶ高層マンションや物の値段が高くなったこと、コロナで昔からの懐かしいお店がなくなり、やっと走り始めたというモノレールには一度もお目にかかることはありませんでした。

ハワイのハワイらしさは「歳」のとり方です。ハワイでは「年を取ったのだから」と明るい服を身に着け、「わたしだってまだ、

まだ出来るわよ。」と他では食べられないレセピーのリブステーキを届けてくださった93歳のTさん。「今年夫婦で日本一周のクルーズに行くよ」と上手に楽しむK夫妻。「まだ私も椅子に座ってならフラを踊れるから」と礼拝で賛美するSさん。ハワイでは歳を恐れず、歳と仲良く、上手に過ごしています。

アロハスピリットこそハワイらしさですが、気軽な食事を通してのふれあいの豊かさは日本でも真似たいものと思いました。

ハワイで20年続けていた夫婦そろっての朝泳ぎに夜明けのビーチに出かけましたが、毎朝「ハイ、グッドモーニング」とあいさつを交わしたかけたおなじみさんの顔が見えず、ビーチのヤシが大きくなっていました。ひと泳ぎし、帰り道のコーヒーショップで「アップルターンオーバーとコーヒー」で朝を済ませ、懐かしいハワイを楽しみました。

しかし、礼拝を共にし、安否を問いあい、食事を共にした信仰のファミリーは今も健在で、変わりなく、ハワイに包まれるうれしい交わりでした。

今、阪南に戻りましたが、オンラインのミーティングや時差を利用しての24時間連鎖祈祷のチェーンに加わり、ハワイの交わりの延長を楽しむことができることは有り難いことです。